

事業報告書様式

- 1 様式1
(施設概要、指定管理者概要)
- 2 様式2
(管理運営体制(事業計画書様式2)の報告、利用促進・市民協働等(事業計画書様式3)の報告、維持管理(事業計画書様式4)の報告)
- 3 様式3
(有料施設利用回数・人数・稼働率(月別)・利用料金収入実績、令和6年度公園利用状況)
- 4 様式4
(令和6年度修繕実績)
- 5 様式5
(令和6年度増減備品一覧)
- 6 様式6
(苦情要望対応報告、事件・事故・災害対応報告)
- 7 様式7
(利用者アンケート結果)
- 8 様式8
(研修実施報告)
- 9 様式9
(無料事業実施報告一覧(自主事業含む)、有料事業実施報告一覧(自主事業含む))
- 10 様式10
(業務の第三者委託実績)
- 11 様式11
(収支報告書(指定管理事業のみ))
- 12 様式12
(運営目標・実績報告)

1 施設概要

公園名	大榎杉の森ふれあい公園
所在地	神奈川県横浜市都筑区大榎町472番1
公園面積、公園種別	9,812㎡（街区公園）
主な施設	分区園(10㎡×23区画、15㎡×13区画、40㎡×2区画)、協働農園、広場、樹林地、倉庫(トイレ併設)、照明、駐輪場、脚洗場、案内板、水呑場等
特徴	横浜みどりアップ計画の一環として農地の公益的機能の保全と市民の農体験の機会を増やすため整備された農園付公園
公園開園日	平成28年4月1日

公園名	若草台第二公園分区園
所在地	神奈川県横浜市青葉区若草台6-1
公園面積、公園種別	約1,565㎡（街区公園）
主な施設	分区園(30㎡ 32区画)、倉庫(トイレ付)、縁台等
特徴	市内では初期の分区園(パーク菜園)として整備された
公園開園日	昭和61年4月6日

2 指定管理者概要

指定管理者名	株式会社 田澤園
代表者名	代表取締役社長 田澤重幸
所在地	神奈川県横浜市南区六ツ川4丁目1234番地
指定管理期間	令和5年4月1日～令和9年3月31日まで(4年間)
現指定管理者管理運営開始日	大榎杉の森ふれあい公園：平成28年4月1日 若草台第二公園分区園：平成31年4月1日

(事業報告書様式2)

1 管理運営体制

(1)管理運営体制

横浜市南区にある本社に置かれた管理本部では、利用者からの意見・要望を受ける窓口業務のほか、現場作業の監督指導や、作業実施報告書の受理、予算の執行管理、職員研修の計画実施等を、各種マニュアルを活用した上で実施し、公園管理責任者を支援しました。当団体が指定管理業務を行っている他公園と連携して以下の職員を配置し管理運営を行いました。

(2)勤務体制

現地管理責任者・技術職員によって、定期巡視・清掃を適宜実施し、荒天時や緊急時などには必要に応じて臨時巡視を行いました。また夏季や繁忙時には、配置人数を増員し、状況に応じて柔軟に対応しました。また、当公園に職員は常駐しない為、利用者や市、関係機関との連絡体制を明確に構築し対応しました。

年末年始の緊急時対応としては、24時間体制で連絡がとれるよう外部の警備会社に委託し、指定管理者への連絡体制を整え、公園利用者が安全・安心して過ごせる環境を整えました。

2 利用促進・市民協働等の報告

(1) 利用促進

当団体は公平・公正に利用者の声を把握して管理運営に反映し、誰もが安心して安全・快適に利用出来る環境プログラムを提供しました。

① 利用者ニーズの把握

巡視・点検の際、利用者や周辺住民の方へ積極的にコミュニケーションを取ることで、要望やニーズを直に把握できた為、いただいた要望にできる限り迅速に応えることができました。

利用者と顔を合わせることで「顔の見える管理」を行い、信頼関係を築くことができました。

② 利用者の安全及び利用者指導

熱中症の予防として、注意喚起ポスターの掲示や利用者への声掛けを積極的行いました。

熱中症対策としては、温湿度計の設置や管理ヤードには経口補水液等を常備しました。

救急箱・AED・消火器を設置し、職員4名が上級救命講習を受講し緊急時の対応に備えました。

年末年始の対応として24時間緊急連絡が受けられるように体制を整えました。

社内個人情報保護研修を実施し、また個人情報保護法入門研修(LEC東京リーガルマインドeラーニングコース)を受講し、個人情報の取り扱いについて学びました。

③ 利用者の利便性の向上に寄与する取組

共有農具の配備、各区画に土壌改良剤としてはまっ子ユーキの配布、足場の悪い園路へのウッドチップ敷設、自動販売機の設置(大槲)、区画内通路に防草シート敷設(若草台)、利用者の年齢層に応じた広報手段として、SNS・掲示板の活用を行いました。

(2) 市民協働

当団体は地域に根差した企業として「良き企業市民として、より良い社会を実現するため、社会貢献活動を積極的に推進します。」というCSR方針を掲げています。地域住民と連携し地域の賑わいや交流の場として公園が活用されるよう、市民参加・市民協働に寄与する取組を行い、以下のような様々なイベントを積極的に実施し、農体験を通じた地域住民の交流を図りました。

【若草台第二公園分区園】

七タイイベント、ゴーヤの無料配布、朝どれ野菜の無料配布、愛護会と空きスペースへの花植え・球根等の支援、お正月用アレンジメント教室

【大槲杉の森ふれあい公園】

タケノコ掘り、七タイイベント、花壇の花植え、ジャガイモ・サトイモ・ショウガ・ハクサイ・キャベツ・スティックセニョールの収穫体験、お正月用フラワーアレンジメント教室、夏ミカンの収穫体験、ウメの整枝剪定講習会、自然観察会・環境教室・バードコールづくり、センニチコウのドライフラワーの配布、カキの実の配布、カリンの配布・地元小学校と連携した手書きの樹名板づくり

3 公園の維持管理の報告

週2回行う巡視点検により、修繕箇所を早期発見・予防する予防保全型の維持管理を行いました。いつでもフットワークを良くすることで、要望があった際は、悪天候時にも早急な対応を行いました。

【若草台第二公園分区園】

各所に施設の老朽化がみられるため、巡視点検はもとより、定期点検・詳細点検を行いました。

分区園内通路に防草シートを敷き、高齢者でも歩きやすくしました。

園路にウッドチップを敷き、滑らないようにしました。

公園愛護会と連携しながら花植え等を行い、公園の魅力向上やPR等、質の高い管理運営を行いました。

【大槲杉の森ふれあい公園】

サクラ・スギの危険木については、横浜市と協議の上撤去していただき、第三者被害の未然防止を実現しました。

近隣住民から要望のあった道路沿いの中低木の刈込を行い、対向車の視距を確保しました。

足場の悪い園路にウッドチップを敷き、高齢者でも歩きやすくしました。

希少植物の保全・竹林整備・高所の枯れ枝撤去・刈込や花壇整備など適切な時期に必要な植栽管理を行いました。また、里山保全のため、2月～3月に実生の常緑樹の伐採とササ刈りを行い、かつての里山が潜在的にもっている春の野草の出現に向けた植物管理を行いました。

1 有料施設利用回数・人数・稼働率(月別)

■若草台第二公園分区園 有料施設利用回数・稼働率

名称	全区画数	利用区画数	利用率
個人用区画 (30 m ²)	32	28	87%

■大棚杉の森ふれあい公園 有料施設利用回数・稼働率

名称	全区画数	利用区画数	利用率
個人用区画 (10 m ²)	23	23	100%
個人用区画 (15 m ²)	13	13	100%
団体用区画 (40 m ²)	2	2	100%
合 計	38	38	100%

2 利用料金収入実績

■若草台第二公園分区園 有料施設利用料金収入

名称	単価(円)/年	全区画数	利用区画数	合計(円)	備考
個人用区画 (30 m ²)	19,500	32	26	507,000	
	9,750		1	9,750	年度途中契約
	3,250		1	3,250	年度途中契約
合 計		32	28	520,000	

■大棚杉の森ふれあい公園 有料施設利用料金収入

名称	単価(円)/年	全区画数	利用区画数	合計(円)
個人用区画 (10 m ²)	10,000	23	23	230,000
個人用区画 (15 m ²)	15,000	13	13	195,000
団体用区画 (40 m ²)	36,000	2	2	72,000
合 計		38	38	497,000

3 令和6年度 公園利用状況

月別	公園の利用人数	備考
非常駐公園のため未計測		

若草台第二公園分区分園・大柵杉の森ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

(事業報告書様式4)

令和6年度 修繕実績

修繕月日	修繕箇所	金額(単位:円)	委託業者名または直営かの記載
■若草台第二公園分区分園			
R6. 4. 8	水栓修繕	28,061	高田管設株式会社
R6. 4. 22	分区分園空き区画の防草シート敷設	0	直営
R6. 7. 12	倉庫扉修繕	0	北部公園緑地事務所
R6. 7. 15	ウッドチップ敷設	0	直営
■大柵杉の森ふれあい公園			
R6. 4. 24	分区分園周辺の防草シート敷設	0	直営
R6. 11. 6	利用者倉庫の棚修繕	0	直営
R6. 11. 15	ウッドチップ敷設	0	直営
R7. 3. 24	ウォシュレット点検	11,000	高田管設株式会社
R7. 3. 28	擬木土留め杭のキャップ修繕	0	直営
合計		39,061 円	

(事業報告書様式5)

令和6年度 増減備品一覧

品名	形状・ その他	単価 (円)	購入		廃棄		増減理由
			数量	年月日	数量	年月日	
増減なし							

(事業報告書様式6)

苦情・要望対応報告

■若草台第二公園分区分園			
	年月日	内容	対応結果
1	R6. 4. 22	栽培講習会の時に「み」を使って元肥等の指導を行ったところ、利用者も「み」使えるように倉庫内に置いてほしいと要望あり。	翌週、利用者倉庫内に「み」を設置した。
2	R6. 5. 31	利用者から蚊が増えてきて刺されるので何か対策してほしいと要望あり。	「ヤブ蚊バリア」を購入し、倉庫内に設置した。
3	R6. 7. 9	利用者より倉庫の扉が固く閉まりづらいので対策してほしいと要望あり。	北部公園緑地事務所へ連絡し、7月12日に作業班の方が扉の修繕に来てくださった。扉をドライバー等で調整し、改善された。
4	R6. 9. 17	新規利用申込の際に、畑にはまっ子ユーキを混ぜて耕運機で耕運してほしいと要望あり。	翌日、畑にはまっ子ユーキ5袋を混ぜて耕運機で耕運作業を行った。
5	R6. 6. 13	新規利用者より畑を耕運してほしいと要望あり。	耕運機で耕運作業を行った。

■大柵杉の森ふれあい公園			
	年月日	内容	対応結果
1	R6. 4. 1	近隣住民より畑のゴミを近くのゴミ捨て場に捨てている人がいると連絡あり。 ゴミを確認したところ、はまっ子ユーキの袋とヤサイのゴミが入っていた。	ゴミは持ち帰って処分した。畑で出たゴミは近くのゴミ捨て場に捨てないで、必ず持ち帰っていただくように利用者倉庫内ホワイトボードに書き込みをした。
2	R6. 4. 20	イベントアンケートで時計を付けてほしいと要望あり。	5月17日、利用者倉庫の横にある手洗い場の壁に時計と温湿度計を設置した。
3	R6. 5. 3	利用者より畑の水栓を開くと水が漏れてしまうので何か対策してほしいとの要望あり。	その日のうちに、ホースの留め具を新しいものに交換し改善した。
4	R6. 6. 11	公園に隣接する住民より、ツルの伸びる雑草中心に草刈してほしいと北部公園緑地事務所へメールで要望あり。	その日の午後に、住宅地沿いの機械草刈を行った。
5	R6. 8. 5	分区園下の住民から草を取ってほしいと要望あり。	その日のうちに草刈り作業を行った。
6	R6. 8. 30	近隣住民より、大雨で側溝から水が溢れていると連絡あり。	直ぐに確認に向かい、側溝のスクリーンに溜まった落ち葉を取り除き、詰まりは解消された。
7	R6. 9. 6	隣接宅の住民から北部公園緑地事務所へ、ツルが伸びて越境しているので取ってほしいと要望あり。	その日のうちに越境したクズツルの除去作業を行った。
8	R6. 10. 5	利用者から「畑のまわりに植えられている木の根がかなり畑に入り込んできていて困っています。どうにかありませんか？」とご意見箱に要望あり。	10月10日、利用者の畑の周りを深く掘るとサルスベリの根が伸びてきていたので、根切りした。
9	R6. 10. 18	利用者から「畑で出た野菜クズ等のゴミを持ち帰るのが大変。捨てられる場所を作してほしい。」と要望あり。	区画内のゴミは持ち帰るルールになっていることを再度説明し、横浜市へご意見は伝えますとお答えした。
10	R6. 11. 5	利用者から「倉庫の棚が外れてしまったから直してほしい。」と要望あり。	翌日11月6日に修繕した。
11	R7. 1. 4	利用者から分区園下の生垣を低くしてほしいと要望あり。	2月14日、マキの生垣の刈込を行い、分区園下段の畑の日当たりが改善された。
12	R7. 2. 20	隣接住民より分区園上段の木を伐採してほしいと要望あり。	その日のうちに雑木の伐採を行った。
13	R7. 2. 26	近隣住民より、北部公園緑地事務所へ要望あり サクラや竹林を含めた景観に配慮した作業をしてほしい。（上部分区園から見える雑木林外周） 分区園入口付近の外周植栽の丈が伸びたため、道路の通行の際、対向車が見えなくなるので対処してほしい。	2月27日、道路沿いの中低木の刈込を行い対向車が見えやすくした。今後も視距を確保できる高さで刈込を行っていく。

(事業報告書様式6)

事件・事故・災害対応報告

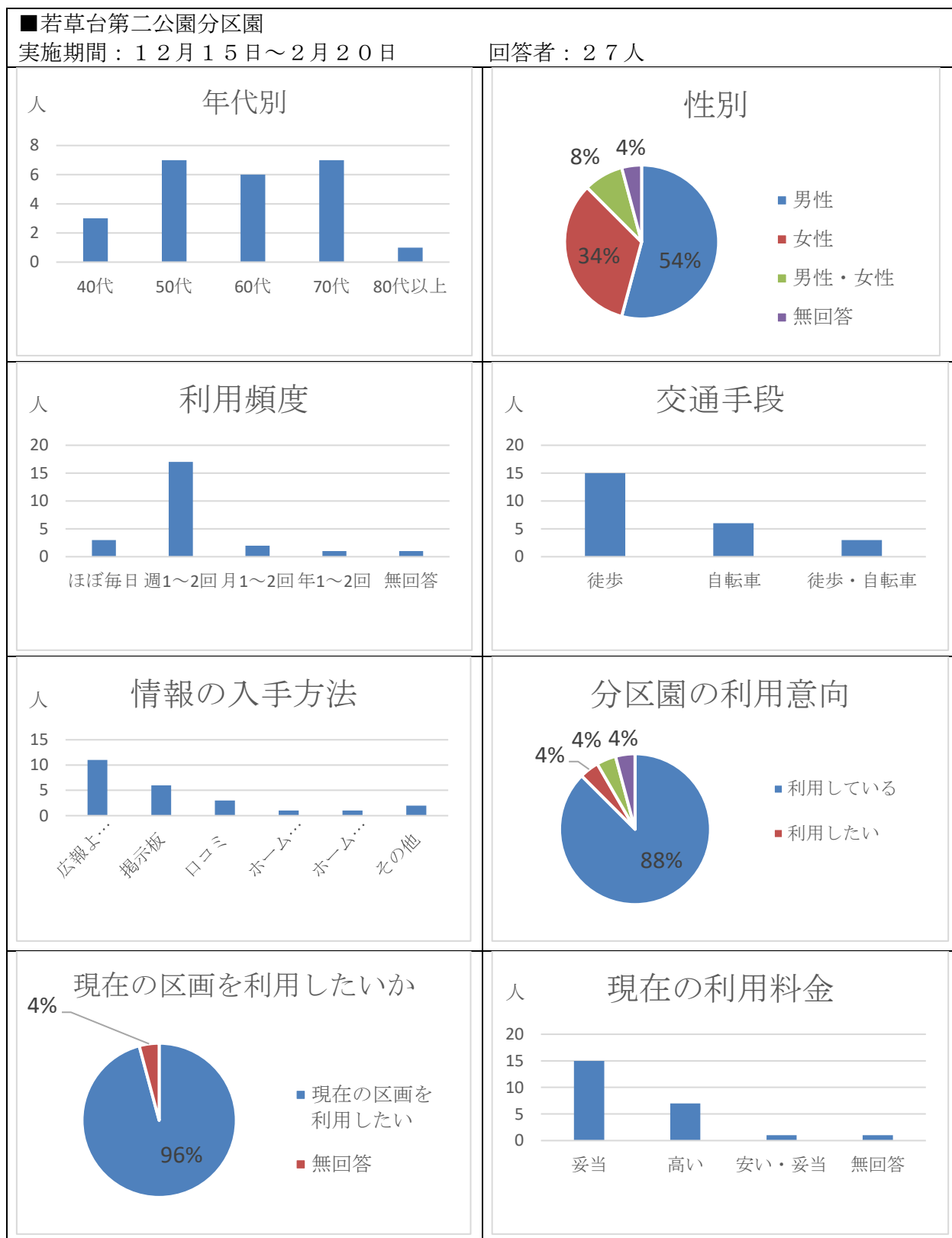
■大柵杉の森ふれあい公園

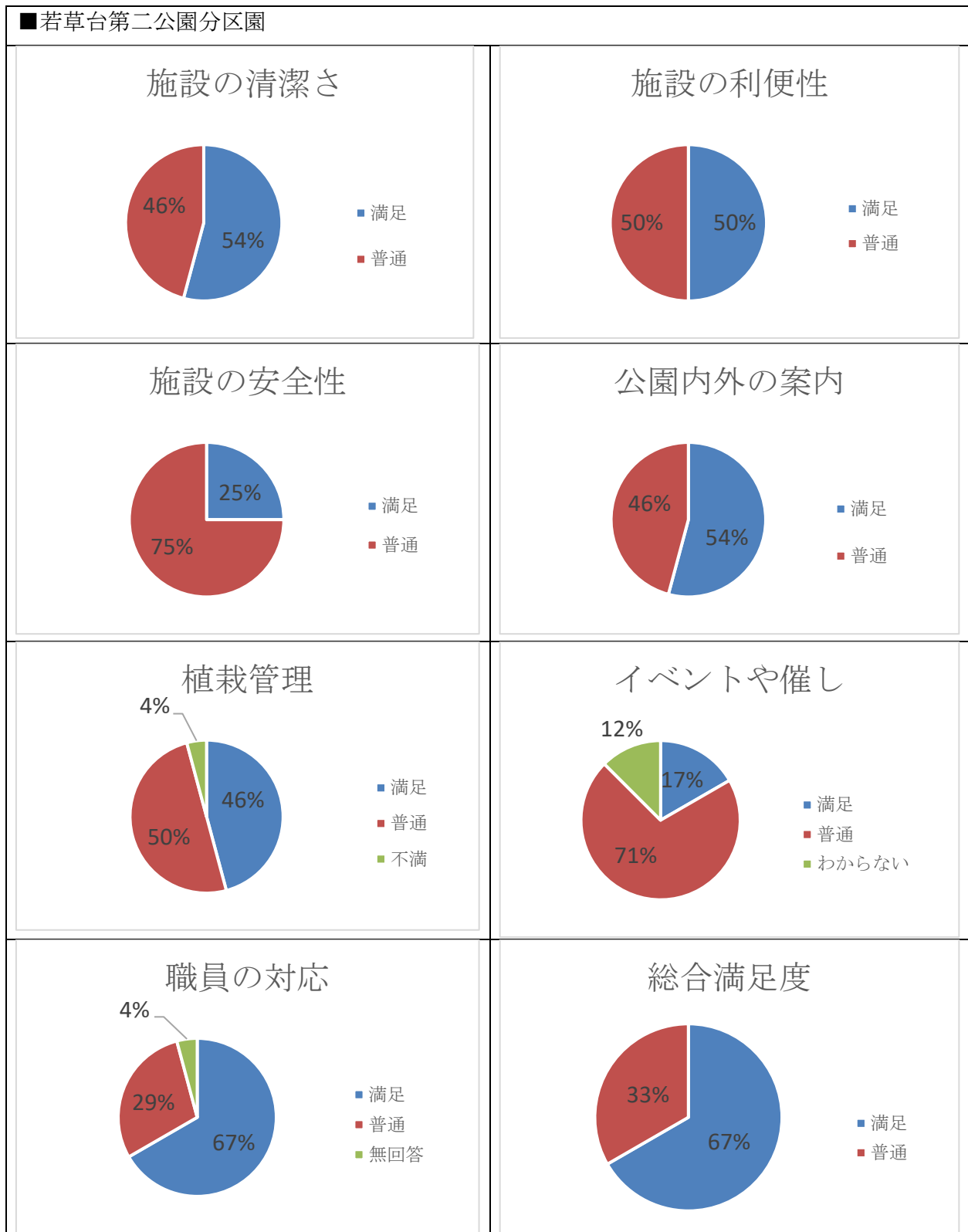
今年度の報告はありません

■若草台第二公園分区園

今年度の報告はありません

若草台第二公園分区園・大榎杉の森ふれあい公園 令和6年度 事業報告書
 (事業報告書様式7)
 利用者アンケート結果





■若草台第二公園分区園

【分区園を利用したい理由】

- ・自分で育てた野菜を食べたい。
- ・近いから。

【現在の区画を利用したい理由】

- ・除草等時間をかけて手入れしたため。
- ・始めたばかりなので。
- ・土を育てるため。
- ・栽培中の作物が有る為。
- ・冬場11月～2月迄の間、日当たりが悪いが、それ以外は良好である。
- ・土壌改良をしているので。土作りをしているから。
- ・きれいにしているから。
- ・日当たりや水道に近い。
- ・越年野菜を継続して植えたい。

【他の区画に移動したい理由】

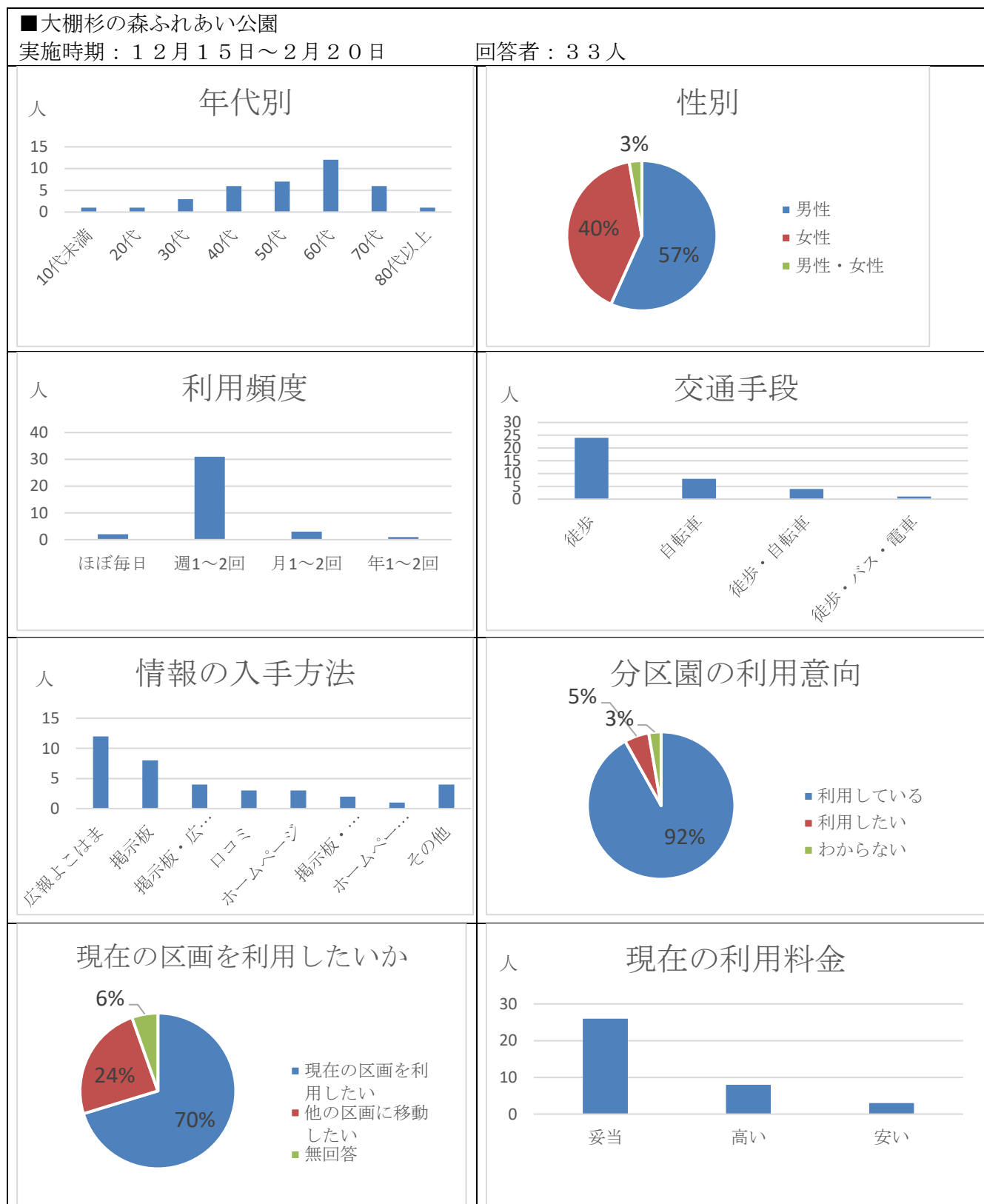
※他の区画に移動したい理由は、特に記されてはいなかった。

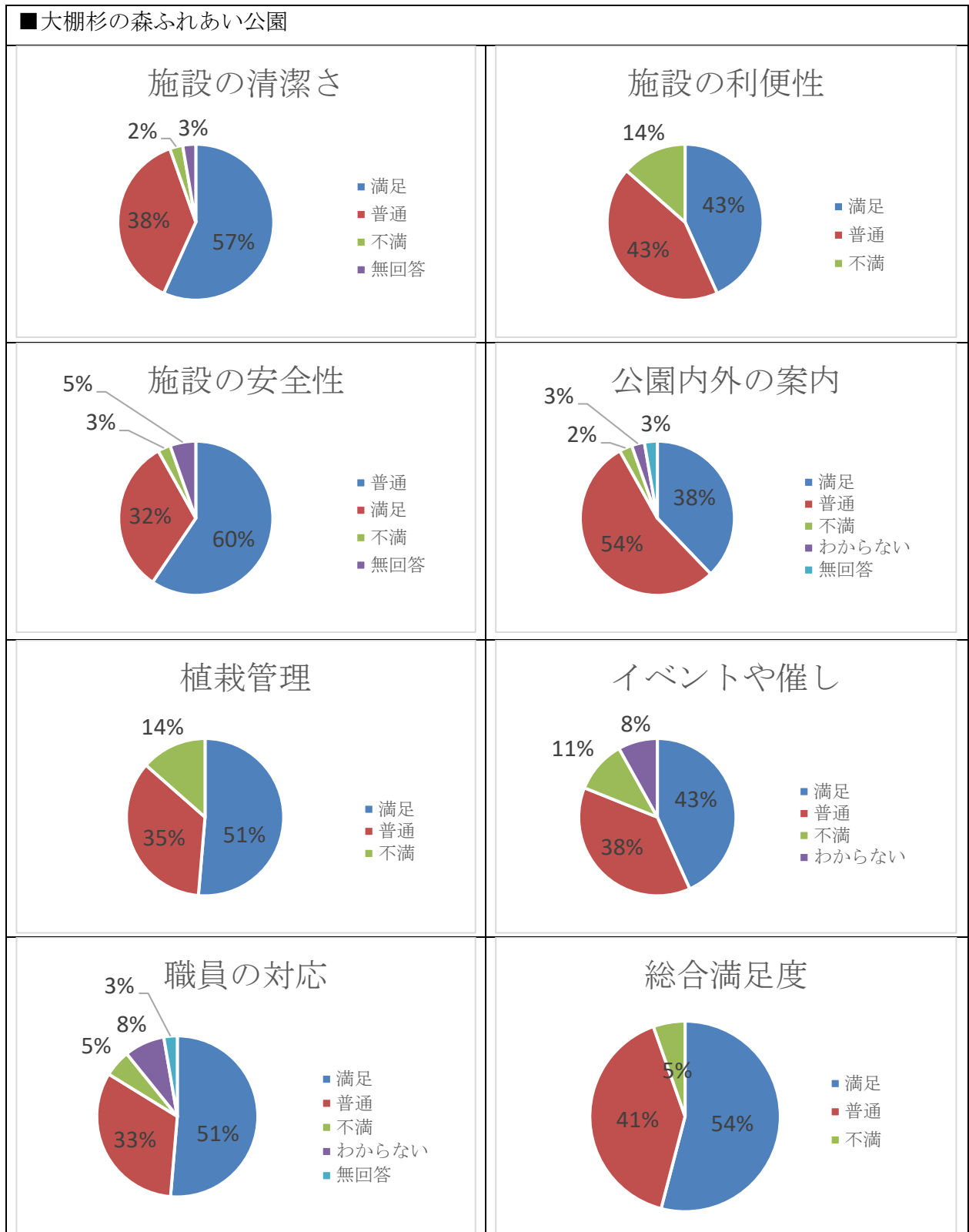
【利用料金】

- ・管理が行き届いていてありがたい。
- ・2区画借りることができるようになるならば、割引も検討していただけたらと思います。
- ・少し高い。
- ・急激な値上げだった。
- ・時代にあっている。
- ・R6年も物価高で沢山の物価が高くなり、日常生活にも圧迫されつつあるため。
- ・年々高くなる理由が解らない。
- ・12,000円から18,000円に値上げは高いと思います。

【自由意見】

- ・いつもお世話になっています。これからもよろしくお願いします。
- ・除草等もう少し頻度を多くしてほしい。
- ・共用部分の管理が行き届いていて安心です。残さ置き場があるとうれしいですが…
- ・素人の私にも収穫出来た野菜を食する事が出来、大変感激しております。
- ・施設内に明かりが欲しい。
- ・いつもきちんと管理頂きありがとうございます。
- ・トイレを洋式にしてほしい。
- ・子供が時々園内で遊んでいるが、道具使用時は不安の時あり。
- ・掲示板での連絡状況が良くなって来た。区分場所によって給水の便が良い、悪いが生じているが、何か良い方法はないものか。
- ・第二公園の松の木等に寄生する（巣を作っている）カラスのつがいがトウモロコシ熟成（実をつける）までにつつついてしまう。ネットをかけると良くなるが、風で飛ばされていた時は悲惨でした。
- ・草刈、通路のチップ、倉庫の整理など大変満足です。
- ・ロッカー入口調整をお願いします。管理会社の方々、ありがとうございます。





■大槲杉の森ふれあい公園

【分区園を利用したい理由】

- ・ちょっと体調を崩しているため。
- ・楽しいので。
- ・開園よりずっと利用しているから。
- ・無農薬で育てた野菜が食べられる。
- ・田澤園さんが好きだから。
- ・近所だから。自宅から近い。
- ・家庭菜園の利用のため。

【現在の区画を利用したい理由】

- ・春先植えて継続して使えるから。
- ・石が多く、取り除いて来たため。
- ・冬場の日あたりが気になるので。
- ・手をかけて来たので、このまま利用したい。移動したい人だけすれば良い。去年はほとんどの人が改正になったので、大変そうだった。今まで改正はなかったのでやめてほしい。
- ・土作りから工夫している。畑の中のガラス片、陶器片その他ビニールゴミなどとのぞいたりして愛着がある。土に愛着があります。
- ・満足しているので。負担が少ないから。そのまま使い続けたい。
- ・4月に畑を移動するのは難しい為。
- ・土壌改良をしているから。1年間いろいろと改良し、作物に良い状態にしたので。
- ・前年以前の栽培状況が把握できるため。

【利用料金】

- ・何に使っているのですか。5,000円位まで。絶対に高い。収支報告書を出してほしい。
- ・利用料金以上の収穫が見込めない。ジャガイモ作れない。
- ・水道、物置、畑道具など設備が充実している。管理もていねい。
- ・従来の金額を希望。料金の値上げしすぎ。
- ・予算の範囲である為。

【他の区画へ移動したい理由】

- ・日当たりがいい場所に移りたい。日照不足。日当たりが良くない。やや陽当たりが悪いので。冬季期間の陽当たりが悪い。
- ・倉庫の近くがよい。
- ・ネキリムシに可成農作物をやられてしまった為。

【自由意見】

- ・「利用期間終了のお知らせ」兼「来年度利用意向調査」、抽選を夏野菜終了のころ9月にやってほしい。理由は、翌年も同じ畑を利用できるなら秋にうえて初夏まで栽培にかかるタマネギ、ソラマメなどを育てるチャンスができるから。2月ころに畑利用の不・可がきまると考えると3月までの野菜を素人が計画するのがむずかしい。
- ・畑の日当りを良くするために西がわの竹をもう少し切ってほしい。
- ・土作り。
- ・水栓を立柱栓にしてほしい。増設してほしい。猛暑、少雨で水やりが大変です。
- ・草刈りがもっと多いと助かる。植木の根が畑に入ってくる。
- ・畑の通路にはまっ子ユーキや苗のポット、支柱を置いている方がおり迷惑です。通路の雑草は誰が管理すべき？
- ・常に整備が行き届いている。年間のイベント予定か去年の実績を公開していただけると参考になります。（公園の見所などもあらかじめ分かると畑の反対まで行けるので）
- ・畑側にもトイレが欲しい。
- ・野菜の残渣入れを設置してほしい。
- ・アンケートの配色が変わり分かりにくかった。誤植多い。掲示板の更新が遅い。

- ・水道栓。野菜を何度も盗まれるのでカメラを設置してほしい。除草シート。
- ・いつも花が有り、居心地がよい。分区分園利用者の顔会せ会（コミュニティ形成のため）不審者が入り込まない様にするため。資材や苗などの販売。
- ・収穫（落花生、梅）、盆栽、苔、ワラ細工、竹細工
- ・竹のこ掘りや里いも掘りなどのイベントの参加人数をもう少し増やしてほしいです。一度も参加できなかったことがない（すぐにメ切りで）です。残念！
- ・西側の山の竹林の間伐をもっとしてほしい。
- ・相談会みたいなことがあるといいです。
- ・野菜収穫体験、竹の子掘りなどのイベントを継続してお願いします。
- ・放置している区画には注意してほしい。

（事業報告書様式8）

研修実施報告

	実施日	研修名	参加人数	内容及び効果
1	R6. 4. 8	個人情報保護法入門研修	3	個人情報の取扱についての研修
2	R6. 6. 7	安全推進大会	4	安全に作業を行う為の研修
3	R6. 6. 17	樹木点検研修	2	樹木の点検に関する研修
4	R6. 8. 30	上級救命講習	1	応急手当に関する講習 (心肺蘇生、AED使用方法等)
5	R6. 10. 25	AED講習会	3	AED使用方法の講習会
6	R6. 9. 20	社内防災訓練	4	災害時の安否確認等の訓練
7	R6. 12. 5	宿根草講演会	2	景観づくり、植物の見せ方から運営、 スタッフ体制に関する研修
8	R7. 3. 4	花卉園芸研修会	2	花卉園芸についての知識・技術等の研修
9	R7. 3. 24	社内個人情報保護研修	4	個人情報の取扱についての研修

（事業報告書様式9）

無料事業実施報告一覧（自主事業含む）

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日
■ 2公園共通			
土づくり講習会	講師による土づくりの講習会を開催	11名	4・8月
栽培講習会	講師による野菜の栽培講習会を開催	11名	4・8月
農薬の取扱い講習会	代用品での栽培アドバイスを実施	11名	4・8月
現地でのお悩み相談会	栽培している野菜のお悩み相談会を開催	11名	4・8月
道具の貸し出し	持ち運び困難な道具の貸し出しサービスを実施	—	随時
利用者用手引きの配布	利用規定や緊急連絡先を記載した手引きを配布	全区画	4月

若草台第二公園分区園・大槲杉の森ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

連作障害防止	連作障害防止の観点から利用者に栽培情報の提供を実施	全区画	4月
図書サービス	利用者用倉庫内に野菜作りの書籍を常備	—	随時
土壌調査	希望者に向けて土壌の酸度測定を実施	20区画	4月
園芸資材の譲渡会	不要となった園芸資材の譲渡を実施	2名	1. 21
畑づくりのコツ	畑作業で発見したコツの募集	—	1. 17
お野菜レシピ	分区園で収穫した野菜レシピの募集	—	1. 17
収穫体験・タケノコ掘り	竹林管理の一環として行う大槲のタケノコ掘りは、若草台の利用者にもPRを実施	58名	4. 20
落ち葉のリサイクル	園内で作った堆肥を希望者へ配布	4名	1. 24
季節の種の無料配布	カブの種の無料配布を実施	全区画	7. 23
区画番号の作成	新しい区画番号札を設置	全区画	3. 27
土づくりコンテスト	土づくり自慢を募集	—	1. 17
こども食堂への提供	協働農園で育てたサトイモを地元のこども食堂へ提供	—	11. 5
協働農園 グリーンカーテンの活用	来園者の熱中症対策と植物の生育観察・収穫体験のコーナーとしてゴーヤのグリーンカーテンを設置	—	6. 14
	ゴーヤが豊作だったため来園者に配布(若草台)10回	—	8～10月
野菜作り日記	SNSや交流ボードを活用し、野菜の生育状況等を紹介	—	随時
交流ボード	利用者同士の交流と情報交換の場の提供を実施	—	随時
ホームページ・Xの活用	公園のHP・Xを活用し、イベントや見ごろの花等の情報をタイムリーに発信し、利用促進に繋げた。	—	随時
AED・消火器の設置	緊急時に備え利用者倉庫に常備	—	随時
花植えによる景観向上	景観向上の為、花植え作業を年4回実施(若草台)	—	4～11月
	景観向上の為、花植え作業を年10回実施(大槲)	—	4～1月
	花壇のセンニチコウを束にして来園者に配布(大槲)	20名	10. 24
七夕イベント	大槲の竹を利用して七夕飾りを設置	32名	6. 7月
公園パンフレットの配布	公園パンフレットを配布し、利便性向上とPRを実施	—	随時
竹のお正月工作	大槲の竹を利用してお正月用アレンジメント教室を開催	9名	12. 23

■若草台第二公園分区園			
堆肥の提供	大槲の公園で作った堆肥を利用者へ配布	2名	3. 21
青葉地産地消レシピブックの紹介	青葉区が作成している野菜のレシピブックを配布	—	随時
朝どれ野菜の無料配布	多く採れた収穫野菜の配布交換を実施	6名	9. 15
愛護会等の地域団体との連携	愛護会の方にご協力いただき園内の空きスペースに球根と花植えを実施	1名	11. 29
■大槲杉の森ふれあい公園			
さとやまづくり	さとやま景観の保全・希少植物の保全を実施	—	随時

若草台第二公園分区分園・大榎杉の森ふれあい公園 令和6年度 事業報告書

花木園を活用した地域交流	ウメの実を収穫し、来園者に配布	—	6.4
	カキの実を収穫し、来園者に配布		11.5
	カリンの実を収穫し、来園者に配布		11.18
	夏みかんとはっさくの収穫体験を実施	18名	2.25
	ウメの整枝剪定講習会を実施	2名	2.12
竹林を活用した地域交流	近隣住民向けにタケノコ掘り開催	58名	4.20
巣箱の設置	来園者が野鳥を観察出来るように、巣箱を設置	—	3.28
手書きの樹名板づくり	最寄りの小学校と連携した手作りの樹名板設置	16	3.28
自然観察会	里山の自然観察会を実施	2名	3.1
農業体験	協働農園で育てたジャガイモの収穫体験を実施	22名	6.22
	協働農園で育てたサトイモとショウガの収穫体験を実施	9	10.19
	協働農園で育てたハクサイ・キャベツ・スティックセニョールの収穫体験を実施	6	12.7
ゾウにタケノコプレゼント	竹林管理の一環として伐採したタケノコをズーラシアのゾウの飼育員にお届け	—	4.22
工作教室	樹木剪定で発生した枝を使いバードコール作りを実施	2名	3.1
環境教室	堆肥置場の見学を実施	2名	3.1
自然クイズラリー	園内の植物で自然クイズラリーを行いHPで発信	—	3.18

有料事業実施報告一覧（自主事業含む）

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日	自主事業決算額	
				自主事業費 (円)	自主事業収入 (円)
■ 2 公園共通					
園芸資材の 現地販売	土壌改良剤であるはまっ子ユーキの現地販売を実施	—	4・8 月	60,480	86,400
竹のお正月工 作	大榎杉の森ふれあい公園で伐採した竹を使って、お正月用のフラワーアレンジメント教室を実施	9名	12.23	17,693	9,000
合計				78,173 円	95,400円

（事業報告書様式10）

業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額(円)	年回数	実施月
水道修繕	【若草台】水栓の修繕工事	(株)高田管設	28,061	1	4月
巡回警備	年末年始緊急時の巡回警備	京浜警備(株)	7,000	1	12・1月

(事業報告書様式11)

収支報告書(指定管理事業のみ)

(単位:円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	8,338,600	0	8,338,600	8,338,600	0	
利用料金収入	1,121,000	0	1,121,000	1,023,720	97,280	
自主事業収入	94,000	0	94,000	95,400	▲1,400	
雑入	0	0	0	500	▲500	
その他雑入	0	0	0	0	0	
収入合計 (a)	9,553,600	0	9,553,600	9,458,220	95,380	

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	6,830,000	0	6,830,000	7,240,096	▲410,096	
給与・賃金	5,668,000	0	5,668,000	6,041,116	▲373,116	
社会保険料	730,000	0	730,000	816,138	▲86,138	
通勤手当	150,000	0	150,000	223,997	▲73,997	
福利厚生費	100,000	0	100,000	14,845	85,155	
勤労者福祉共済掛金	12,000	0	12,000	9,600	2,400	
退職給付引当金繰入額	170,000	0	170,000	134,400	35,600	
事務費	681,600	0	681,600	542,334	139,266	
旅費	115,000	0	115,000	62,964	52,036	
消耗品費	130,000	0	130,000	227,615	▲97,615	
会議賄い費	20,000	0	20,000	0	20,000	
印刷製本費	50,000	0	50,000	12,000	38,000	
通信運搬費	130,000	0	130,000	110,295	19,705	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
(横浜市への支払い分)	0	0	0	0	0	
(その他)	0	0	0	0	0	
備品購入費	100,000	0	100,000	0	100,000	
保険料	60,000	0	60,000	63,460	▲3,460	
振込手数料	10,000	0	10,000	0	10,000	
リース料	50,000	0	50,000	66,000	▲16,000	
手数料	0	0	0	0	0	
その他事務費	16,600	0	16,600	0	16,600	
自主事業費	150,000	0	150,000	238,950	▲88,950	
管理費	1,420,000	0	1,420,000	828,847	591,153	
光熱水費合計	320,000	0	320,000	238,963	81,037	
光熱水費(電気)	150,000	0	150,000	117,990	32,010	
光熱水費(ガス)	0	0	0	0	0	
光熱水費(水道)	170,000	0	170,000	120,973	49,027	
光熱水費(下水道)	0	0	0	0	0	
清掃費	0	0	0	0	0	
修繕費	100,000	0	100,000	28,061	71,939	水栓
機械警備費	0	0	0	0	0	
公園及び公園施設設備保全費	1,000,000	0	1,000,000	561,823	438,177	
施設(建物)・設備保守	100,000	0	100,000	11,000	89,000	
園地管理費	800,000	0	800,000	543,823	256,177	
その他保全費	100,000	0	100,000	7,000	93,000	
公租公課	122,000	0	122,000	0	122,000	
公租公課(事業所税)	1,000	0	1,000	0	1,000	
公租公課(消費税)	120,000	0	120,000	0	120,000	
その他公租公課	1,000	0	1,000	0	1,000	
事務経費(本部分)	350,000	0	350,000	357,600	▲7,600	
雑費	0	0	0	0	0	
支出合計 (b)	9,553,600	0	9,553,600	9,207,827	345,773	
差引 (a-b)	0	0	0	250,393		

(参考) 指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計 (c)	86,000	0	86,000	72,289	13,711	自販機一台
設置管理許可支出合計 (d)	40,000	0	40,000	1,309	38,691	電気代等含む
差引 (c-d)	46,000	0	46,000	70,980	▲24,980	

今年度の収支報告

定期巡視でこまめな点検を実施し、不具合の早期発見・予防を図ったことで大規模修繕に至らなかったため、修繕費の削減が出来た。コスト意識を持ち、経費削減に努めた。

運営目標・実績報告【自己評価 ◎:特筆すべき取組がある ○:達成している △:改善を要する】

項 目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	自己評価	改善点等 今後の取組
業務運営1 (事業計画書様式2:運営業務の実施計画・取組)	<p>①農業を通してふれあえる公園づくり</p> <p>②利用者ニーズを踏まえたサービスの提供 アンケートや巡視時の聞き取り調査を通じて反映(年2回程度)</p> <p>③地域連携とコミュニティー形成を促進 協働農園や果樹園を活用した自主事業の実施</p> <p>④安全・安心で快適に利用できる環境づくり</p> <p>⑤市民への還元と社会的な責任を果たす</p> <p>⑥谷戸景観・里山景観・緑の保全 竹林やキンラン・エビネランの自生エリアの保全</p> <p>〈今後の取組・目標〉 野菜作りのできる公園・まちの人・里山環境の保全のつながりを目指した公園管理に取りくむ</p>	<p>・公園利用者への声掛けや掲示板の活用により、大槲の分区園利用率は100%に繋げることができた。若草台は84%であった。</p> <p>・またイベントへの声掛けなども積極的に行い、栽培作物を増やした結果、令和6年度のイベント参加人数は大槲165名、若草台27名、昨年度から136名増となり、近隣住民や分区園利用者に大変喜ばれた。</p> <p>・大槲の自販機の売上で野菜苗や花苗等を購入することができた。</p> <p>・竹林や自生する希少植物(キンラン・ギンラン・エビネ・ヤマユリ)の復元に向けて日照確保の植物管理を図った。</p>	◎	<p>令和7年度は若草台の改修工事が行われる予定だが、土質が悪く空き区画が出てしまっている畑の土壌改良を図り、また、利用者確保に向けて募集方法の見直しも検討してまいります。</p> <p>協働農園の収穫体験に加え、果樹園を利用したイベントを増やしていけるよう取り組みます。</p> <p>希少植物の更なる増加を目指し、植物管理・保全を適正に行ってまいります。</p>
業務運営2 (事業計画書様式2:管理運営体制、人員の配置と研修計画)	<p>【管理運営体制】</p> <p>①現地管理責任者・技術職員による 定期巡視・清掃(週2回)</p> <p>②荒天時や緊急時など必要に応じて臨時巡視</p> <p>③夏季や繁忙時の増員(2人程度)</p> <p>【研修】</p> <p>①安全管理、接遇など様々な業務を遂行できるよう定期的研修(年3回程度)</p> <p>②マルチスタッフ化を図る スタッフ連携や情報共有、研修等を通じてマルチスタッフ化を目指します</p> <p>③職員の技術・技能の向上 日常の管理業務や作業を通じて技術の伝承を目指します</p>	<p>・公園利用者が安全、安心に利用できるよう、週2回の定期巡視を行うことができた。</p> <p>・必要に応じて臨時巡視や繁忙時の増員を実施した。</p> <p>・安全推進大会、樹木点検研修、上級救命講習、社内防災訓練、AED講習会、宿根草講演会、花卉園芸研修会、個人情報保護研修を実施した。</p>	◎	<p>引き続き適正な人員配置と繁忙時の応援体制を行ってまいります。また、必要な研修を進めながら、安全など効果的な管理を行ってまいります。</p>

<p>業務運営 3</p> <p>(事業計画書様式 3 : 利用者サービスの向上・利用促進策)</p>	<p>利用者の声を把握し公平・公正に管理運営に反映し、誰もが安心して安全・快適に利用できる環境とプログラムを提供します。また、公園の魅力向上と利用者サービスの向上を図ります。</p> <p>①アンケートによる満足度 90%以上を 目指す。 ②利用者からの要望の実施 ③利用者募集 PR を SNS や掲示板・広報誌等を活用しておこないます</p> <p>屋外での作業も安全に安心して実施できるよう、熱中症対策やアルコール消毒を行う。</p>	<p>・イベントアンケートでは満足度 98%以上を達成出来た。利用者アンケートの満足度は大槲 54%、若草台 67%だった。</p> <p>・大槲では利用者からの要望のあった時計や温湿度計の設置や、ホース留め具の交換・倉庫棚の修繕等、迅速な対応を行った。若草台では利用者から要望のあった「み」や「ヤブ蚊バリア」の設置・畑の耕運、倉庫扉が開かなくなってしまったと連絡を受けた際は、北部公園緑地事務所へ連絡し修繕していただき、迅速な対応を行った。</p> <p>・利用者募集の PR として X,HP、掲示板での情報発信に加え、自治会と連携して、自治会館にチラシを置かせていただいたことで利用者確保に繋がった。</p> <p>・熱中症注意喚起ポスター掲示や、経口補水液等の常備、アルコール消毒・ハンドソープの設置など、衛生環境を整えた。</p>	<p>◎</p> <p>引き続きアンケート調査の実施を行い、利用者からの要望については対応を検討していきます。</p> <p>また、季節の変化に応じた利用者サービスの向上に取り組んでまいります。</p>
<p>業務運営 4</p> <p>(事業計画書様式 3 : 広報・プロモーションの取組)</p>	<p>①広く一般に向けた施設専用のホームページの運用 ②高齢者や近隣利用者に向けた直接的な訴求効果が図れる情報媒体(広報誌など)を活用 ③若年者へ向けた、SNS(HP やツイッター)の活用 (ツイッター月 2 回程度)</p> <p>具体的な管理状況やイベント等の情報を発信し、多くの方に公園を知っていただけるよう取り組む</p>	<p>・掲示板や施設専用のホームページに加え、X も活用して公園の情報発信を行った。</p> <p>・公園パンフレットを掲示板の横に設置し、公園の PR に努めた。</p> <p>・イベント時は公園や分区園の説明等も行い、多くの参加者に PR した。</p> <p>・SNS(HP・X)を利用し、季節毎の変化が感じられる公園の様子やイベントの情報の周知を行った。</p>	<p>◎</p> <p>引き続き分区園の PR を行い、X や HP での情報発信の回数を増やしてまいります。</p>

<p>業務運営 5</p> <p>(事業計画書様式 3 : 市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)</p>	<p>①地域活動の場の提供、学習の機会(活性化) 協働農園や公園内施設を活用した、農体験の場の提供(・花木園を活用した地域交流 ・竹林を活用した地域交流)</p> <p>②市民主体の活動の支援 花壇づくり等の企画・サポート</p> <p>③防災活動の支援 東日本大震災の教訓を啓発し、防災訓練を支援</p> <p>〈今後の取組・目標〉 本公園は農体験を通じて利用者同士のコミュニケーションが生まれ、作物を育てるだけの場ではなく地域住民にとっての交流の場となる公園を目指します。</p>	<p>・竹林管理の一環として行ったタケノコ掘り体験のイベントでは、地域交流の場となり、農体験を通じた良い学習の機会となった。</p> <p>・協働農園では、ジャガイモ・サトイモ・ショウガ・ハクサイ・キャベツ・スティックセニョールの収穫体験・果樹園では、ウメの整枝剪定講習会・近隣保育園と連携して夏ミカンの収穫体験を行い、農体験を通じて参加者同士の栽培体験などの情報交換が行われ、活発なコミュニケーションが図られた。</p> <p>・公園愛護会と花壇作りを行った。</p> <p>・社内防災訓練や AED 講習会を実施し、防災意識を高めた。</p>	<p>◎</p> <p>引き続き近隣住民も参加していただけるイベントを実施し、皆様の交流の場となる公園を目指してまいります。</p>
<p>業務運営 6</p> <p>(事業計画書様式 3 : 地域課題を踏まえた事業提案・地域活性化への貢献)</p>	<p>① 里山風景と自然環境の保全(さとやまづくり)</p> <p>②地域住民の高齢化対策</p> <p>③地域での健康づくり、介護予防、健康寿命の延伸</p> <p>④自然体験や伝統文化を学習する機会の提供(巣箱の設置 ・自然観察会)</p> <p>⑤SDGs や地球温暖化等の環境学習の場(環境教室 ・自然クイズラリー)</p> <p>〈今後の取組・目標〉 公園管理や里山景観の保全を通じて、地域との係わりを大切にし地域課題や活性化につながる機会を提供します。</p>	<p>・里山保全のため、竹林の間引き、実生の常緑樹の伐採、ササ刈りなど、野草の復元を目標に維持管理作業を実施した。</p> <p>・高齢者でも安全に歩けるように園路にウッドチップをの補充を行った。</p> <p>・来園者が身近に野鳥を観察できるように、巣箱を設置し、自然観察会を行った。</p> <p>・タケノコ掘りやバードコール作りで本公園の里山環境解説し、手を加えていくことで里山環境が維持されていくことを学んでもらうことができた。</p>	<p>◎</p> <p>引き続き地域の方々と収穫体験が行えるように協働農園の野菜作りの準備を進めていき、身近な自然を楽しめるような公園作りを目指してまいります。また大榎では希少植物の保全を適切に行ってまいります。</p>

<p>業務運営 7</p> <p>(事業計画書様式 3 : 本市の重要施策を踏まえた取組・環境への配慮)</p>	<p>【横浜市施策への協力】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・横浜みどりアップ計画 ・ガーデンシティ横浜の推進 ・国際園芸博覧会の開催に向けて ・横浜市SDGs 認証制度 ・ヨコハマbプラン ・横浜市水と緑の基本計画 ・横浜市中心部振興基本条例 ・ヨコハマ 3R 夢プラン ・横浜市地球温暖化対策実行計画 ・横浜市防災計画 <p>当団体は、基本構想を踏まえ公園の設置目的の達成及び横浜市の運営方針や市政の実現に対して積極的に協力・対応し管理を行うとともに、国際園芸博覧会の開催に向けて協力します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・国際園芸博覧会のポスター掲示や花の管理には力を入れ、公園の緑花などみどりアップ計画の推進に努めた。 ・園内で発生した落ち葉を利用して堆肥作りをし、ゴミの量を抑制することで、環境に配慮した管理運営を行うことができた。 	<p>◎</p>	<p>引き続き市の施策実現に向けて積極的に協力し、花と緑あふれる魅力ある公園を目指してまいります。</p>
<p>業務運営 8</p> <p>(事業計画書様式 4 : 公園の魅力高める施設保全・管理)</p>	<p>公園施設は誰もが安心・安全で快適に利用できるよう、質の高い維持管理と安全確保を最優先し、利用者にとって「きれいで使いやすい・魅力ある公園」を目指す</p> <ul style="list-style-type: none"> ①週 2 回の巡視と定期清掃 ②園内作業や巡視時の利用者への声掛け ③日ごろから近隣住民との顔の見える関係づくり <p>〈今後の取組・目標〉</p> <p>公園の魅力高める施設保全や管理を行ってまいります。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・週 2 回の巡視と定期清掃を実施できた。 ・巡視時の利用者への声かけは積極的に実施でき、コミュニケーションを図ることができた。 ・利用者だけではなく近隣住民とも挨拶を交わし、顔の見える関係づくりが実施できた。 ・季節や植物にあった植栽管理の実施、里山ならではの希少植物の保全、チューリップやユリ等も綺麗に咲き、来園者から喜ばれた。 ・果樹園ではウメの整枝剪定講習会を実施し、近隣保育園と連携した夏ミカンの収穫体験を実施することができた。 	<p>◎</p>	<p>引き続き適切な施設保全、植栽管理を実施し、魅力ある公園を目指してまいります。</p>
<p>業務運営 9</p>	<ul style="list-style-type: none"> ①週2回行う巡視点検時の確認 ②修繕箇所を早期発見(週 2 回の巡視) ③予防保全型の維持管理 <p>小さな破損や不具合は適宜補修します</p> <p>〈今後の取組・目標〉</p> <p>公園施設は誰もが安全・安心で快適に利用できるよう、質の高い維持管理と安全確保を最優先し、利用者にとって「きれいで使</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・定期巡視の際に施設確認を行い、U 字溝スクリーンの落葉詰まりなど排水施設の改善を図った。また、竹しがら・野外卓・ベンチの老朽化を点検し、施設不具合の早期発見に努めた。 ・綺麗で居心地の良い公園と言われるように、トイレ清掃や園路広場の清掃には力を入れた。 	<p>◎</p>	<p>引き続き点検と清掃には気を配り、適切な管理を行ってまいります。</p>

<p>(事業計画書様式4:施設(建物等)、設備の維持管理、修繕計画)</p>	<p>しやすい・魅力ある公園」を目指した管理運営を行う。施設の長寿命化を図るため、定期巡視の際に施設の点検を行い、不具合の早期発見に努める。</p>	<p>・若草台では定期巡視の際に水栓の水漏れを発見し、修繕工事を行った。</p>	
<p>業務運営 10</p> <p>(事業計画書様式4:樹木、植栽等の管理)</p>	<p>〈今後の取組・目標〉 樹木は個体管理を行い、専門職員により適切かつ効率的な育成管理を行う。また、必要に応じて樹木医の診断を実施する。花木の剪定は花や実の時期に留意した剪定を行う。</p>	<p>・中低木、花木類等、適期に剪定・刈込を行い、適切な育成管理ができた。 ・太い危険木(スギ・サクラ)の伐採を市に依頼し、実施していただいた。 ・斜面等に繁茂するクズについては日常管理で目に付く箇所について順次クズ切りを実施した。</p>	<p>◎</p> <p>引き続き植栽等の適切な管理を行い、利用者の事故を未然に防止するよう努めてまいります。</p>
<p>業務運営 11</p> <p>(事業計画書様式4:巡視・清掃)</p>	<p>①週2回の定期巡視点検 修繕箇所を早期発見・予防する 予防保全型の維持管理 ②日常点検:目視や触診にて、不具合を軽微なうちに発見し迅速に対応 ③施設点検:年4回実施 ④詳細点検:年1回実施 ※有資格者による点検を実施</p> <p>〈今後の取組・目標〉 これまでの経験と技術を活かし利用者が安全で安心して過ごせるような維持管理に努める。</p>	<p>・所定の巡視、点検を計画通り行い、老朽化に伴う修繕が必要な施設については、北部公園緑地事務所と協議できるよう準備を進めた。 ・年末年始の緊急時対応としては、24時間体制で連絡がとれるよう外部の警備会社に委託し、指定管理者への連絡体制を整え、公園利用者が安全、安心に過ごせる環境を整えた。</p>	<p>◎</p> <p>引き続き巡視、点検を計画通りに行い、必要に応じて巡視回数や人員を増やし、利用者が安全、安心に過ごせるような維持管理に努めてまいります。</p>
<p>収支</p> <p>(事業計画書様式7:収入確保、経費節減策)</p>	<p>分区分園利用率 100%を目指し、広報と利用促進に努める</p> <p>〈今後の取組・目標〉 不具合の早期発見・予防を図る事で大規模修繕に至らないよう努める。コスト意識を持ち経費削減に努める。</p>	<p>・大榎では分区分園利用率 100%を達成できた。 ・若草台では分区分園利用率 84%だった。 ・定期巡視で不具合の早期発見ができるようこまめな点検を実施した。</p>	<p>◎</p> <p>引き続き分区分園利用者の確保には声掛けや掲示板、HP等を活用した発信を行ってまいります。定期巡視でこまめな点検を行い、不具合の早期発見に努めてまいります。</p>